

第2回 盛土に関する専門会議

北九州市建築都市局開発指導課

説明項目

- 1 区域指定の考え方
- 2 区域原案
- 3 既存盛土調査

1 区域指定の考え方

1-1 区域原案作成の流れ

1-2 盛土規制法における保全対象

1-3 宅地造成等工事規制区域について

1-4 特定盛土等規制区域について

1-5 区域原案及び今後のスケジュール

1-1 区域原案作成の流れ

① 宅地造成等工事規制区域（候補区域）の作成



② 特定盛土等規制区域（候補区域）の作成



③ ①と②の区域を合わせ、区域原案とする

※特定盛土等規制区域は、
「宅地造成等工事規制区域以外の区域」となる。

1-2 盛土規制法における保全対象

| | ①宅地造成等工事規制区域 | ②特定盛土等規制区域 |
|------|------------------------------|--|
| 保全対象 | ・市街地（市街化の見込みのある土地を含む）、集落等 | ・①の区域内の市街地（市街化の見込みのある土地を含む）、集落等 上記以外のうち・・・ ・人が居住し、又は活動を日常的に行う蓋然性の高い人家や施設等の存する土地 ・人が日常的に往来する蓋然性の高い道路等の公共施設 |
| 対象区域 | ・市街地、集落等 ・上記に隣接、近接する土地の区域 | ・市街地、集落等から離れているものの、地形等の条件から人家等に危害を及ぼし得るエリア ・市街地、集落等以外の区域の居住者等に危害を及ぼし得るエリア |

※蓋然性 ≒ 可能性（蓋然性が高い→そうなる確率が高い）

1-3 宅地造成等工事規制区域について

①対象となる区域の考え方

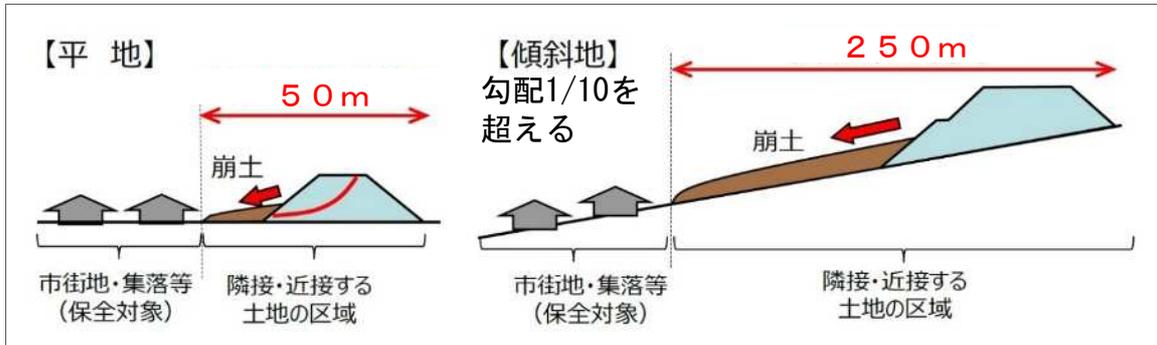
②区域の抽出について

③宅地造成等工事規制区域（候補区域）

※宅地造成等工事規制区域 ⇒ 宅造区域

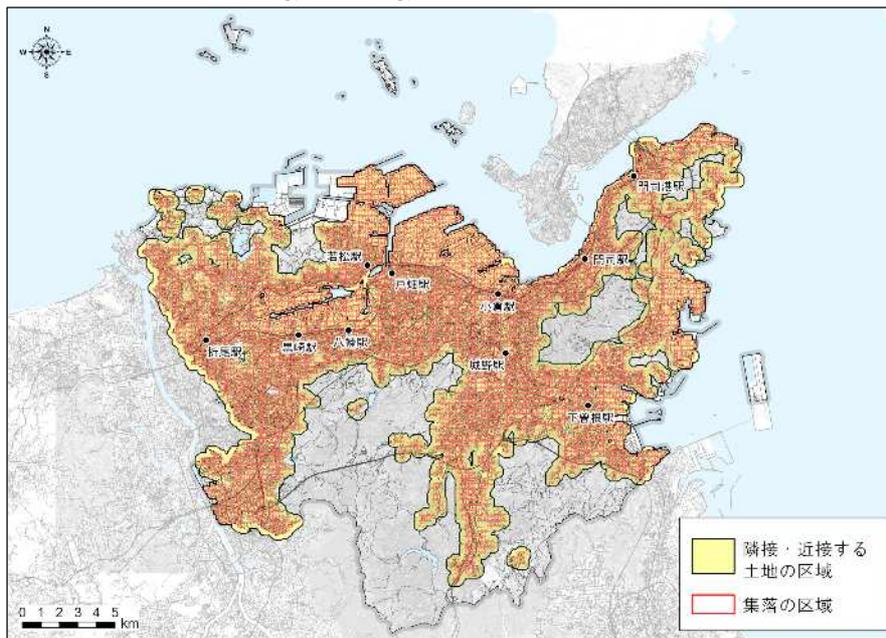
C：市街地・集落等に隣接・近接する土地の区域

盛土等の崩落により流出した土砂が、隣接・近接する市街地・集落等の保全対象に危害を及ぼしうる土地の区域。



実施要領に記載されている、土砂災害警戒区域（「急傾斜地の崩壊」、「地滑り」）の指定基準を参考に距離を設定。

C：市街地・集落等に隣接・近接する土地の区域



1-4 特定盛土等規制区域について

①保全対象の整理

②対象となる区域の考え方

③区域の抽出について

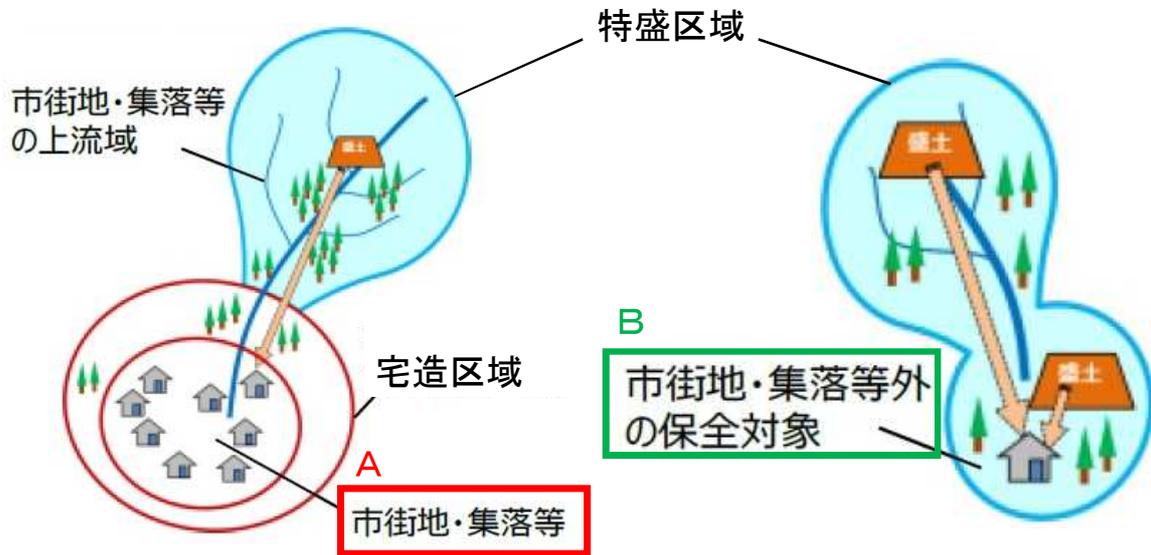
④特定盛土等規制区域（候補区域）

※特定盛土等規制区域 ⇒ 特盛区域

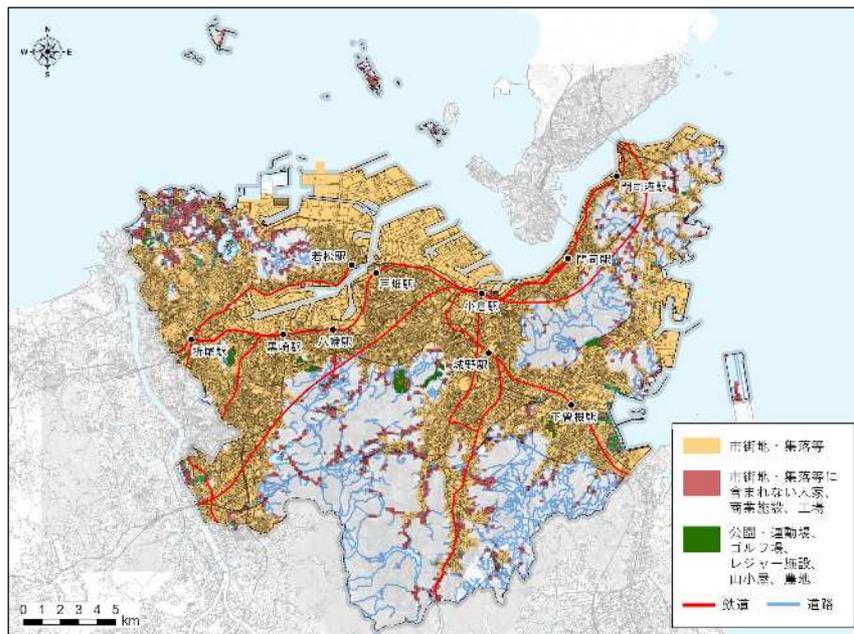
①保全対象の整理

| | 保全対象 | 内容 |
|---|-------------------------------------|---|
| A | 市街地・集落等 | 宅造区域内の保全対象 |
| B | 人が居住し、又は活動を日常的に行う蓋然性の高い人家や施設等の存する土地 | <u>市街地・集落等に含まれない</u> <ul style="list-style-type: none">・人家・商業施設・工場・公園・運動場・ゴルフ場、レジャー施設、山小屋・観光農園等を含む農地 |
| | 人が日常的に往来する蓋然性の高い道路等の公共施設 | <u>市街地・集落等に含まれない</u> <ul style="list-style-type: none">・道路・鉄道 |

①保全対象の整理



①保全対象の整理

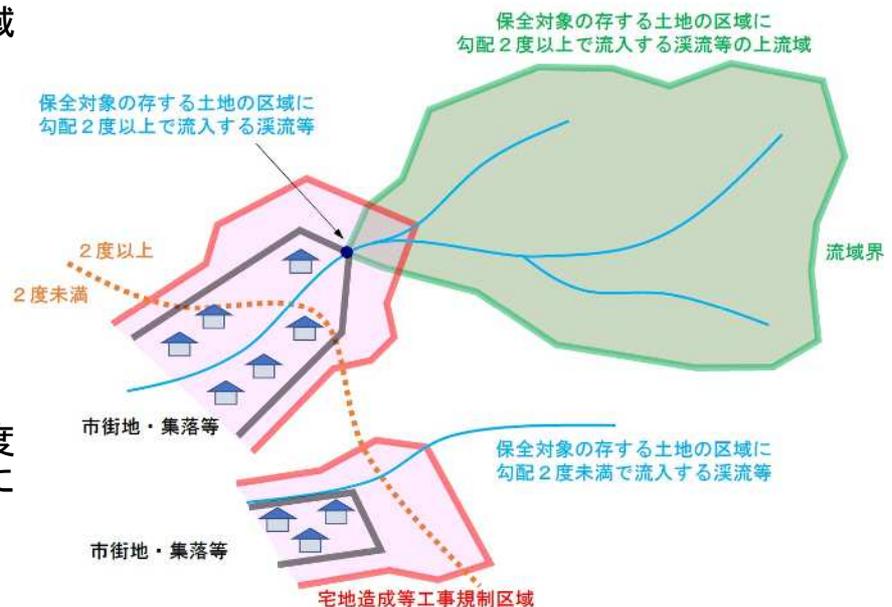


②対象となる区域の考え方

- a : 盛土等の崩落により流出した土砂が、土石流となって溪流等を流下し、保全対象の存する土地の区域に到達することが想定される
溪流等の上流域
- b : 特盛区域の保全対象に隣接・近接する区域

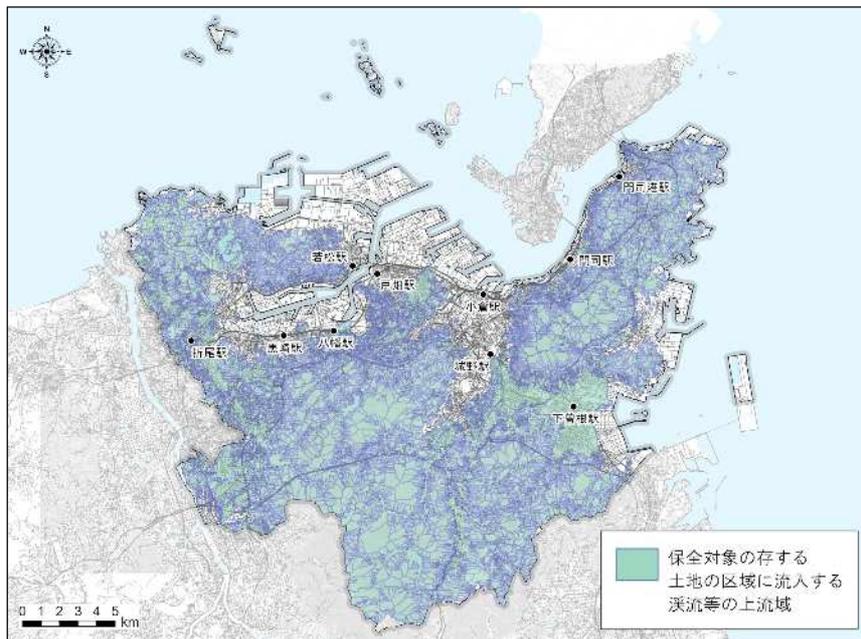
③区域の抽出について

- a : 溪流等の上流域
(イメージ)



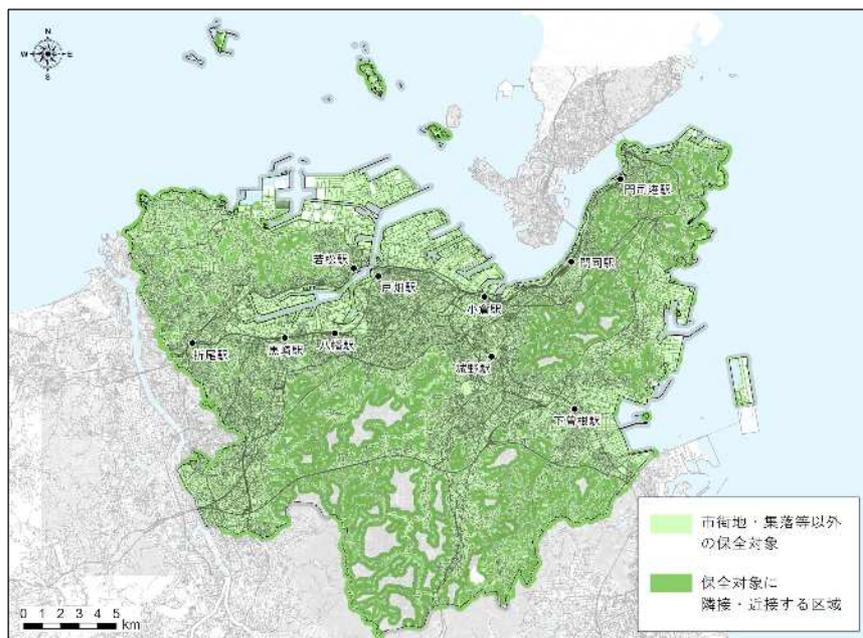
※対象は、勾配2度を基準に機械的に抽出している。

a : 溪流等の上流域



b : 特盛区域の保全対象に隣接・近接する区域

※宅造区域の「市街地・集落等に隣接・近接する区域」と同じ考え方



3 既存盛土調査

既存盛土調査について

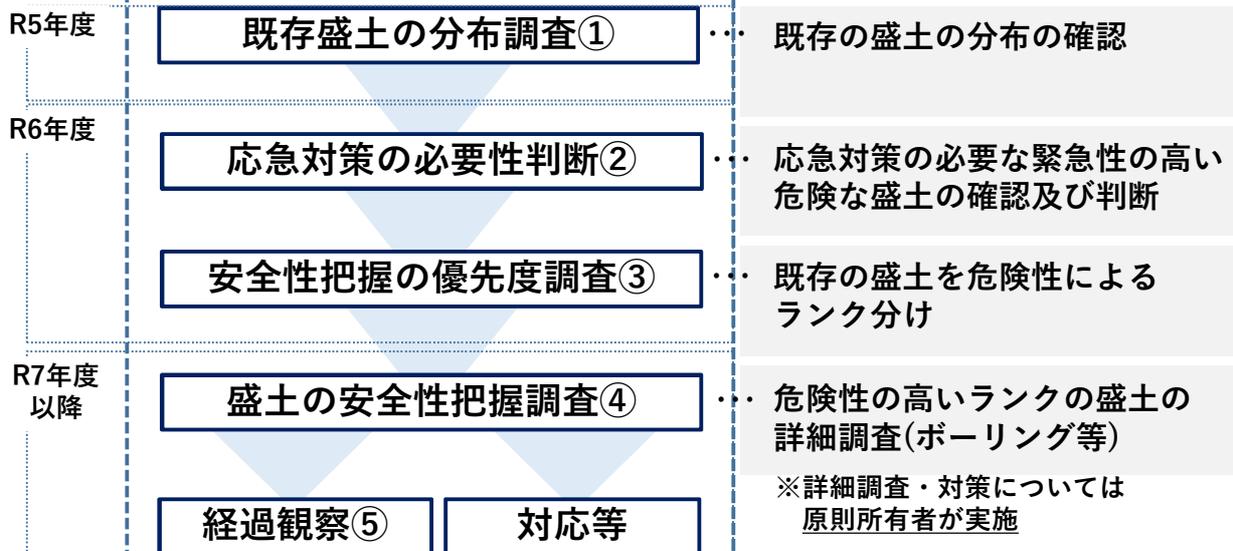
盛土規制法では…

危険な既存盛土の所有者に対して **行政が指導等**を行う

危険な盛土等の把握を行うために **既存盛土の調査**を実施

3 既存盛土調査

既存盛土調査実施内容



3 既存盛土調査

既存盛土の分布調査①

盛土等分布を把握

机上調査

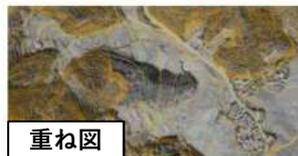
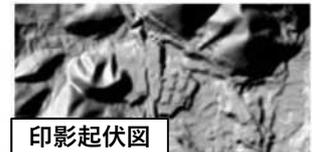
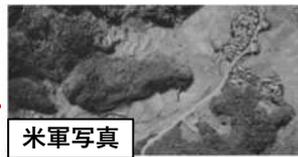
盛土の箇所の抽出

R5年度

現地確認

盛土等の分布の把握

現在 分布調査中



3 既存盛土調査

既存盛土調査実施内容

R5年度

既存盛土の分布調査①

R6年度

応急対策の必要性判断②

安全性把握の優先度評価③

R7年度
以降

盛土の安全性把握調査④

経過観察⑤

対応等

令和6年度の業務(現地調査)における

② 応急対策が必要な盛土等の
崩壊・変状の基準

③ 既存盛土の評価にあたって
の項目・判断の仕方

既存盛土の
調査の管理内容(調査全体)

について

次回会議で意見を伺いたい。